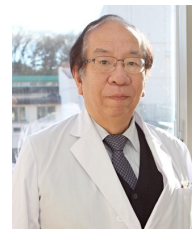




センターニュースをお読みの皆様へ

日本重症心身障害学会が今年の12月1日(木)と2日(金)に決まりましたが、新型コロナウイルスのオミクロン株が増えてこの動向を注目しています。現在のところWEB方式とお台場での現地方式のハイブリッドでやれるように計画しています。この学会は初代園長の小林提樹先生が始められて第12回まで連続して会長を務めておられ、今回35年ぶりに私が会長をやることになりました。大きなテーマは、「重症心身障害児者の原点に学ぶ医療・福祉のこれから」としました。重症心身障害にかかわるすべての職

種の方が会員であり、みんなで討議できるのがこの学会の特徴です。基調講演、特別講演、各種シンポジウム、教育講演一般演題を用意して皆様の参加をお待ちします。また、恒例のファッションショーも復活します。島田療育センターあげてこの学会を盛り上げましょう。よろしくお願いします。

島田療育センター 名誉院長
木実谷 哲史

ぱらあーと ～第31回多摩市みんなの美術作品展

12月6日(月)～12月11日(土)、永山公民館ギャラリーには市内の学校・施設・個人の方々の手作り作品が集まりました。力作・労作ばかりです。当センターからも楽しくて温かな作品を出展しましたので、ご紹介します。(編集委員 岩井 理)



わたしの水族館

海の生き物を自由に作って、プラスチックカップの水槽に入れました。ひとつひとつの水槽はライトアップできるようになっています。

秋のフォトフレーム

「芸術の秋」にちなんで季節感たっぷりのフォトフレームを作りました。好きな材料を選んでペタペタ…利用者様のお写真を入れて飾っています。



鉢植えとコースター

陶土をこねたりのぼしたりして鉢を作り、多肉植物を植えました。杉板を切ってやすりをかけて焼き込みをして完成したコースターに載せてみました。

ハガキ・カード

牛乳パックを材料に、お花紙を混ぜてカラフルに仕上げました。楽しみながら1枚1枚作りしました。



恵泉平和紙芝居研究会KPKAの皆様による

手遊び歌や紙芝居イベントを実施しました

12月11日(土)・26日(日)の午後、恵泉女子学園大学「恵泉平和紙芝居研究会 KPKA(クプカ)」の皆様をお迎えしました。厚生棟での無観客ライブを利用者様の6つの居住スペースに一斉配信するスタイルです。手遊び「トントンクリスマス」・紙芝居「ひーらいたひーらいた」・歌「ハッピーバースディ」「楽しいお正月」など、カメラの向こうでは利用者や職員と一緒に歌ったり体を動かしたりしていました。

(編集委員 岩井 理)



恵泉女子学園大学様のブログで活動の様子が紹介されました

以下のURLまたはQRコードからブログにアクセスしてご覧いただけます。

<https://www.keisen.ac.jp/blog/kees/>



デイケアセンター

クリスマスコンサート

毎年早い時期にクリスマス会を行なっており、クリスマス当日は少し寂しく感じていましたが、今年は久保田院長による「クリスマスコンサート」が開催されました。「クリスマス・イブ」や「パプリカ」など、ギターでの弾き語りでした。利用者様・ご家族ともに笑顔になったり、体を揺らしたり、手を振ったりしながらとても楽しまれていました。

素敵な生演奏を聴くことができ、とても貴重な時間を過ごしました。(デイケアセンター 林 純子)



年末年始のお散歩スポット

「年末年始にお散歩を楽しめるスポットがあったら良いなあ!」という声があり、各病棟からイベント等で作ったものを持ち寄ってお散歩スポットを用意しました。大きなパズル・クリスマス会で皆で飾りつけたケーキ・クラブ活動での作品・大きなお弁当・トト口の壁画、そしてお地蔵様…。フォトフレームも新春バージョンにリニューアル! 思い思いに見たり触れたり写

真を撮ったりして楽しみました。

(療育主任 宮沢 直美)



デイケアセンター

成人を祝う会

梅一輪 淡き日差しに 残る雪

デイケアセンターでは今年度2名の成人を迎え、1月17日(月)に厚生棟で『成人を祝う会』を執り行いました。残念ながらおひとりの方は欠席となりましたが、ご家族の挨拶や祝辞に心を打たれ、和やかな雰囲気の中での式となりました。ご家族と共に歩まれた20年という重みをしっかりと受け止め、新たな旅立ちをする

お二人をこれからもサポートしていければと思っています。(デイケアセンター 栗山 安治)



寄付・寄贈のご報告

ご寄付

毎年行われている株式会社プリンセススクエア様主催のクリスマスパーティーが、昨年12月6日(月)に開催され、河理事長と久保田院長、森久保事務部長が参加させていただきました。また、このパーティーを通じて9,774,000円のご寄付をいただきました。コロナ禍においても、島田療育センターへお気持ちを向けてくださることに感謝いたします。



ご寄贈

12月11日(土)に病棟で行われたクリスマス会にて、島田療育センターを守る会様より、利用者様へは「ル・ジャルダン・ブルー」のクリスマスムース、職員へは「ぐりーんぴーす工房」のクリスマスクッキーをいただきました。美味しいムースがクリスマス会を盛り上げ、楽しいひとときを過ごすことができました。毎年の変わらぬご厚意に感謝いたします。



(編集委員 岸水 美知恵)

家族向け発達支援講座 5

一緒に考えてみませんか？お子さんの
“食べること”について 実施報告

昨年の11月30日(火)、ベルブ永山にて、家族向け発達支援講座「一緒に考えてみませんか？お子さんの“食べること”について～偏食のおはなしも」の講義を行いました。7名の保護者の方と1名の療育関係者の方が参加してくださいました。

講義は、前半に食べる機能の発達について、スライドの資料とあわせて、実際に食べているところの動画も見ていただきながら、講義を行いました。後半は、事前に多くご質問をいただいていた偏食について、偏食の原因や対応方法などについてお話しをしました。感染対策から、今回の講座も当日の質疑応答は行うことが

できなかつたため、講義の中で事前にいただいたご質問にお答えする形をとらせていただきました。講義終了後のアンケートでは、「動画がわかりやすかったです」や「子供の感覚が過敏で肉と米しか食べられないので、勉強できる機会があつて本当に嬉しく思います」といった感想をいただきました。講義を通して、保護者の方の日々の悩みが軽減し、少しでもお食事の時間が楽しいものになれば嬉しく思います。当日ご参加いただいた皆様、感染対策にもご協力をいただき、ありがとうございました。



(言語聴覚士 新田 舞子)

家族向け発達支援講座 6

いっしょに育てよう！
なわとびの土台 実施報告

2022年1月9日(日)にベルブ永山にて、保護者向け発達支援講座として作業療法(OT科)講習会を開催しました。今回は、「いっしょに育てよう！なわとびの土台」をテーマに、なわとびを跳ぶにはどんな土台が必要かという体の根っこの部分をお伝えし、土台の育て方やなわとびの実践方法をご紹介します。また、タオル振り遊びなどお家でも練習できる遊びや体操を体験していただきました。

ご参加いただいた保護者の方からは、「子どもの跳べない理由が分かり、モヤモヤしていた気持ちが晴れました」や「ステップアップの大切さを知りました」



などの声がかけられました。コロナの感染対策の影響により、体験は限られたスペースで実施する必要がありましたが、動画やデモンストレーションを加え、より分かりやすくお伝えできるよう工夫しました。今後も、保護者の方々のお悩みにお応えできるよう内容を考えていきたいと思っております。(作業療法士 中藤 光也)



お子様の発達について、こんなご心配はありませんか？

このコーナーはネットワークしまだで連載していた、親御さんからの発達についてのご質問やお悩みに対して専門職が対応方法をご説明するコーナーです。バックナンバーは島田療育センターのホームページでもご覧いただけます。

Q

ゲームや動画ばかりしていて、心配です…

A

ネットやゲームについてのお約束を守ることは楽しいことが制限されることですので、子どもにとってはとても難しいことです。すでにゲームの楽しさを知っている子どもとお約束をするときのコツは、大人が勝手に決めるのではなく『本人が納得できる約束をすること』です。ゲームや動画の種類によっては、途中で終わらせることが難しいものもあります。オンラインゲームだ



と、一緒に遊んでいる友だちの都合もあつたりします。根気と時間が必要ですが、一緒にやってみたり、本人に聞いてみたりしながら、いつ、どのくらいの時間が必要か、いつならやめられるかなど、上手なルールを一緒に探してみましよう。また、「心配なことややりたくないことのためにゲームがやめられない」「ゲーム以外の楽しいことが少ない」ということもあります。心配事を減らしたり、ゲームやネット以外の楽しいことを見つけたり、ゲーム以外の時間を安心して充実した時間にすることも大切です。(公認心理師 堀越 宏子)

参考図書

『ゲーム・ネットの世界から離れられない子供たち』吉川徹著

利用者様の居住スペース

季節の彩り

今年は居室玄関に門松や鏡餅・干支の張子などを飾り、新年を迎えるに相応しい華やかな雰囲気となりました。



個人情報保護研修を実施しました

感染症対策のため、今年度も引き続き個別視聴による研修を実施しました。全職員対象として昨年12月20日(月)～今年の2月1日(火)までを受講期間としました。啓発ビデオの後、個人情報保護推進委員会(以下、委員会)委員の神田より、2021年に委員会に相談があったケースについて解説しました。オンライン講義で利用者様の映像を使用する時、個人情報を含む郵便物の発送について、カルテの院内貸出時のルールなど、職員にとって身近ですが、大切な事例でした。最後に改めて委員会の役割を説明し、各自アンケートに回答、送信して終了となりました。

(個人情報保護推進委員会 宮田 雅美)

第55回

ねむの木賞を受賞

去る11月10日(水)に、当センター職員の田中多佳子療育長が第55回ねむの木賞を受賞いたしました。



～授賞式を終えて～

贈呈式前、常陸宮殿下にご接見の機会を賜りました。これからの看護師人生の大きな励みになりました。また、ひとりの力で受賞出来るものではなく、島田療育センター職員皆様との連携・協働に感謝申し上げます。日々の「連携・協働」の大切さをあらためて思う特別な日となりました。(療育長 田中 多佳子)

第12回

島田療育センター集談会を実施しました

昨年11月29日(月)から、第12回島田療育センター集談会と題して、センター内における研修報告や研究発表の場を設けました。今回からは島田療育センターはちおうじからの発表も加わり、口演発表6題、ポスター発表6題の計12題の発表が行われました。口演発表は予め講演内容を収録しておくオンデマンド方式を採り、センター内の研修視聴サイトにて任意の時間に視聴できるようにしました。また、各演題に対して視聴者からのメッセージを集め、発表者へのフィードバックも行っています。今後もこのような取り組みを継続していきたいと思っております。

(集談会運営委員 神田 水太)

地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

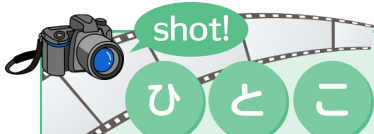
②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて健康診査や介護指導などを行います。

窓口支援部 TEL 042-374-2101(直通)
費用は 無料です。お気軽にお問い合わせください。



ひとこと

1月6日はこの冬初となる積雪。夕方までに10cm以上積もったので終業後に裏山へ行ってみました。灯のない夜の裏山は静寂に包まれたモノクロの世界。快晴となった翌朝は音と色が戻り動物の足跡もいっぱいありました。フェンスでグラウンドに入れず引き返していたり、ベンチから山の方へ向かっていたり…タヌキとキジかな?島田にはいろいろな住人がいることを雪が教えてくれました。



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

